

おんしりん

2013
No.99
広報 恩賜林



国際commons学会 北富士大会開催!

国際commons学会北富士大会が6月3日
～6月7日にかけて開催されました

第6次入会協定、第9次使用協定締結

第1回定例会

平成25年度当初予算可決

第2回定例会

補正予算可決

財政事情の公表

北富士演習場内国有入会地の火入れ

おんしりん森林ふれあい教室

おんしりん森づくりフェスタ

恩賜林杯スポーツ大会

組合からお知らせ



平成25年第2号
発行日 平成25年8月1日
発行元 富士吉田市外二ヶ村恩賜林県有財産保護組合
富士吉田市上吉田5605番地
TEL 0555-22-3355
FAX 0555-23-3425
ホームページ <http://www.onshirin.jp/>
メールアドレス kumiai@onshirin.jp



挨拶をする
国際コモンズ学会
会長メリノ氏

挨拶をする
横内知事

佐藤組合長の
開会宣言



6/3
(月) ふじさんホール

開会式

国際コモンズ学会北富士大会は、山
中明神太鼓保存会の力強い演奏で始
まりました。
開会式では、佐藤幸三組合長の開会
宣言、来賓祝辞、山梨県立吉田高等学
校書道部の書道パフォーマンスなど盛
大に執り行われました。



パフォーマンス
を終えた吉田高
等学校書道部。
会場からは大き
な拍手が送られ
ました。



山中明神太鼓保存会の演奏は非常に力強く、研究者のみなさんは圧倒されていま
した。

【基調講演】

開会式では、米コロンビア法科大学のマイケル・ヘラー教授が「アンチコモンズの悲劇」の演題で講演。参加者の皆さんは熱心に講演を聞いていました。



6/3
(月) 恩賜林庭園

ウェルカムレセプション

開会式の後には、各国から訪れた研究者たちを歓迎する、ウェルカムレセプションが開かれました。
ウェルカムレセプションでは、地元商工会議所等による出店、市内保育園児によるフラッグバトン演技、山中諏訪神社の子供神輿、市村婦人会による盆踊りなどの催しで歓迎しました。
研究者たちは、盆踊りに参加するなど、アトラクションを楽しんでいました。



みんな元気に踊ってくれました



レセプションを楽しむ
研究者たち

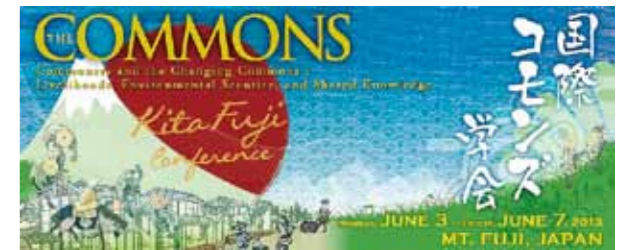


挨拶をする大会共同議長の
マッキーン氏



婦人会のみなさんと一緒に踊る研究者たち

国際コモンズ学会 北富士大会開催!



世界各国のコモンズ研究者たちが入会地や共有地を人々が共同
で利用・管理する制度や仕組みについて研究発表を行う「国際コ
モンズ学会北富士大会」が6月3日から7日にかけて富士吉田市民
会館を中心に市内4会場で開催されました。
今大会では、世界57ヶ国から約400人の研究者が「富士北麓
地域」に集い、期間中には約370の論文などを発表しました。ま
た、国際コモンズ学会は研究発表をするだけでなく当地のコモン
ズについて研究者自身が実際に現地まで足を運び研修を行う
フィールドトリップが特徴となっています。このフィールドトリップ
は大会の重要プログラムであり、今回も北麓周辺の入会地・共有地
を中心に13コースに分かれて現地のコモンズを見聞しました。
今大会最大の特徴は「コモンズの当事者(地元入会住民)」と「コモン
ズ研究者が共同で実施する初めての大会であることから、期間中
様々な場面で研究者と地元入会住民の間で交流や意見交換がなさ
れました。
開会式をはじめとする各式典においては、地元入会住民に協力
いただき地域に根付いたアトラクションを披露し、また、「食」につ
いても地元由来の食材を使用した郷土料理をふるまうなど、おも
てなしの心で研究者を歓迎しました。
また、期間中5回にわたり実施した「地元連携プログラム」では、
地元入会住民をはじめとする計800人以上の一般参加者が出席
し、入会権の基礎から地域のまちづくり、さらには入会の未来につ
いて、有識者の講演や研究者との意見交換など活発な議論がされ
ました。
大会は盛会のうちに無事終了し、参加者からも最大級の評価を
受けました。
これらひとえに地域一体となつて成功に導いてくださった富士北
麓の「地域力」の賜物であり、この大会が今後の地域活性化に向け
た一助となることを願っております。
生活が豊かになるにつれてこの地域においても入会(コモン
ズ)に対する関心がうすれてきています。今大会が「入会」につ
いて再認識することや関心を深める契機となることを確信してお
ります。



フィールドトリップ

6/6 (木)

フィールドトリップとは「コモンズの現場に出向き、現地の人々から直接学ぶ視察研修のことです。13のコースに分かれ実施された中の「富士吉田・山中湖コース」では、火入れによる管理されてきた梨ヶ原などの草地について地勢・災害・歴史を概説しながら地域を巡り、これらの採草地の利便と管理について観察し、草地の生物多様性の意義、文化的な意義について研修を行いました。

コース	テーマ
小管コース	小管村における大学と地域の連携
富士吉田・山中湖コース	富士北麓入会地の草地、その管理と二次的自然
道志コース①	河川開発によって失われたコモンズの再生
都留コース	都留市の小水力発電・伝統と現在
富士講コース	富士講・地域に根差したツーリズムを目指して
富士コース	富士山南麓の茶畑と土地利用
早川コース	山村の暮らしとその変遷
由比コース	駿河湾・由比桜エビと町おこし
三島コース	富士山からの湧水に育まれた「水の都・三島」
伊豆半島コース	世界ジオパークを目指す伊豆半島の茅場・漁業・温泉
御殿場コース	富士山の草地利用とコモンズの政治化
富士宮コース	共有を軸とした農的生活のモデル「エコビレッジ」
道志コース②	横浜市民と道志村民との交流と民有林の保全

国際コモンズ学会の創立メンバーであり、2009年にノーベル経済学賞を受賞したエリノア・オストロム教授を記念・追悼するプログラム。同教授の受賞論文では北富士の入会が事例として取り上げられています。残念ながら2012年に逝去されたため、同教授を追悼するプログラムを開催し、その業績を称えました。また、地元高校生が取り組んだ、聞き手と話し手の双方の対話を通して、話し手の経験や人観を引き出し記録する「聞き書きコモンズ」の表彰式も行われました。



エリノア・オストロム教授

6/5 (水) オストロムメモリアル 聞き書きコモンズ 表彰式

オストロム聞き書き賞

「木も人間と同じ」
静岡県立富士高等学校
江村理歩、澤村亜衣美

「『経験』で未来につなぐ」
山梨県立上野原高等学校
渡邊野乃花、小保優和

聞き書きポスター賞

「自然と人の仲介者」
山梨県立富士北稜高等学校
榊原草詩、宮野亮太



表彰を受ける高校生

6/6 (木) 地元連携プログラム 5

まちづくりというコモンズ ~復興まちづくりからの教訓と「入会」の経験の融合~

場所 旧郡内地域地場産業振興センター
登壇者 西郷真理子氏(都市計画プランナー)
佐々木健氏(大槌町教育部生涯学習課長)
木村俊昭氏(コミュニティープロデューサー・東京農業大学教授)
茂木愛一郎氏(慶應学術事業会代表)

「街のつくり」を再生・創造するための仕組みや組織などについて、コモンズの観点から広角的に、あるいは、ここ北富士



の地における「入会」というコモンズについての多年にわたる経験を融合させることによる新しいまちづくりのあり方を探りました。

6/4 (火)

地元連携プログラム 2

禅と地域社会 禅とコモンズ



場所 富士吉田市民会館・小ホール
登壇者 古川周賢氏(恵林寺副住職・臨済宗老師)

古川氏により、「禅」と「利地の心」や「地域社会」との関係について、わかりやすくお話していただきました。



6/4 (火)

地元連携プログラム 1

基礎から学ぶ 入会権教室



場所 富士吉田市民会館・小ホール
登壇者 中尾英俊氏(弁護士・西南学院大学名誉教授)
武藤茂美氏(小明見入会組合長)
羽田幸徳氏(長池入会組合長)
天野一光氏(忍草入会組合)

中尾氏が先生役、入会組合長が生徒役となり、入会の基本事項について一問一答形式をメインにわかりやすく解説しました。

中尾英俊氏
弁護士・西南学院大学名誉教授
入会権の判例研究に従事。
入会林野近代化事業実施に伴い、九州各地の入会林野コンサルタントを務める。



6/4 (火)

地元連携プログラム 3

入会の原理を生かす 北富士の地域づくり ~コモンズとコモンズ研究者の交流~

場所 富士さんホール
登壇者 中尾英俊氏
(弁護士・西南学院大学名誉教授)
榊澤能生氏(早稲田大学教授)
高村学人氏(立命館大学教授)
佐藤幸三(恩賜林組合長)

このプログラムでは、榊澤氏が中心となり、北富士の入会権者、入会権者以外の住民や地域づくりをしている若い世代の人々、世界各地の研究者が一堂に集まり、北富士入会を振り返り、今後の行く末を論じました。中尾氏、高村氏、佐藤組合長、そして榊澤氏の4者が話題を提供し、北富士入会の今後について熱い討論がなされました。



高村氏



中尾氏



榊澤氏



佐藤組合長

「所有権の無い入会の形」など、日本におけるさまざまな種類の入会があることについて

北富士入会についての説明と、これからの地域づくりに生かす5つの特徴を提示

木質バイオマスを利用した地産地消の町づくりについて

北富士入会地における3つの相反する利益と恩賜林組合が持つ独特の性格について

6/7 (金)

富士Calm 閉会式

5日間の日程で行われた国際コモンズ学会北富士大会は、盛会のうちに無事終了しました。



6/5 (水)

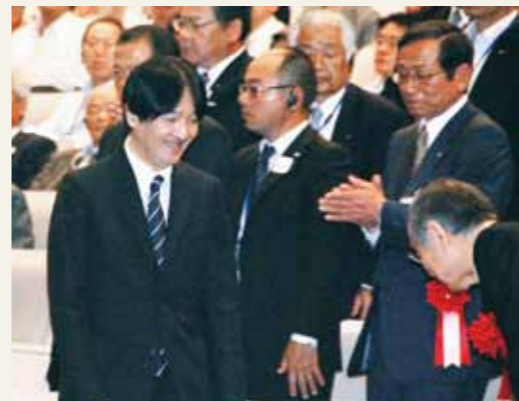
地元連携プログラム 4

震災復興から紡ぐ 地域の未来 ~「課題先進国」日本の教訓~

場所 富士さんホール
登壇者 森重樹氏(復興庁統括官付参事官)
黄川田喜蔵氏
(女川町復興連絡協議会戦略室長)
畠山信氏(NPO法人森は海の恋人副理事長)
加藤善正氏(岩手県生活協同組合会会長理事)
末松広行氏(林野庁林政部長)

新たな地域の「つながり」を構築することにより被災地の復興を図ろうとしている事例を紹介し、地域社会の未来展望のきっかけを話し合いました。

このプログラムには、秋篠宮殿下が御成りになり、研究者や地元住民らとともに御聴講にられました。



盛大な拍手とともに迎えられる、秋篠宮殿下



第6次入会協定、第9次使用協定締結

本年3月第6次北富士演習場内国有入会地の使用に関する協定、第9次北富士演習場使用協定を相次いで締結しました。組合が統制管理する富士山北面入会地の面積は約8100ヘクタールありその内、約4400ヘクタール余りが、北富士演習場となっています。この地域に暮らす人々は、江戸時代以前からこの富士山北面入会地を利用して、下草・薬草・山野菜、萱などの採取、植林による木材生産やこの土地に入山し憩いのひと時を過ごすといった休養の場所としても利用されてきました。しかし、富士山北面入会地の半分以上が北富士演習場となっているため、私たちがこの土地を利用することが制限されています。この制限を現実的に調整する取り決めとして、入会協定、使用協定を国と締結しています。入会協定、使用協定の更新に際しては、昭和47年、地元と国との間で協議の末、内閣官房長官との暫定使用協定の締結から40年が経過し、このときの原点を忘れることなく、世界文化遺産となった富士山の下、入会住民の生活の安定と演習場の安定的使用について、地元と国の最良の互惠関係が築けるよう、対立を乗り越えた対話による問題解決により、心して対応したところ、第6次入会協定及び第9次使用協定を締結する事ができました。

第6次

北富士演習場内国有入会地の使用に関する協定 (入会協定)

入会協定は、北富士演習場内国有入会地において、自衛隊と米軍が演習を行うこと、並びに地元関係住民が入り会うことについて、国と地元間の利害関係を調整し、相互の利便性を図るため締結するもので、昭和63年の第1次入会協定締結以来更新を続けています。3月23日ホテルマウント富士において、第6次入会協定の調印が行われました。

調印式は、国側は調印当事者である小野寺五典防衛大臣の代理として山内正和防衛省地方協力局長が出席し、佐藤幸三恩賜林組合長との間で協定書を整え署名し協定が締結されました。

今回の入会協定の更新に当たっては、組合長の諮問機関「入会協定審議会」に諮問を行い、入会組合連合会長、入会組合長、組合会議員から18人を委員に委嘱、会長に天野弥一組合副議長(当時)が選ばれ、第5次入会協定の締結に際しての検討課題であった、次のことについて審議が行われました。

- ・林野雑産物損失補償に係る対地補償方式の採用について
- ・入会協定条文への「保健休養・元気回復などのための利用」の追加について
- ・梨ヶ原廠舎地区における入会慣習について
- ・弾着区域に入りたくても立ち入れない現状の解決について
- ・国との全8回に及ぶ審議の結果、検討課題であった4項目のうち2項目に一定の結論が得られ長年の懸案に歩み寄りが得られたことは大きな成果です。

今回の入会協定更新では次のように変更されました。

△改正▽

- ・入会行為のうち入会地及び入会道保護管理の一つとして定めている「野火つけ」を「火入れ」に改める。
- ・国は、入会地に保健休養・元気回復の効用があることを理解する。

第9次

北富士演習場使用協定 (使用協定)

北富士演習場使用協定は、北富士演習場を自衛隊と米軍が使用するに当たり、地元から国に要望を折衝するなど相互の利便を図るため、昭和48年の陸上自衛隊への使用転換以来、更新を続けています。3月28日東京都市ヶ谷の防衛省において、北富士演習場使用協定の調印が行われました。

国側を代表して小野寺五典防衛大臣、地元側を代表して横内正明山梨県知事、白井成夫北富士演習場対策協議会長、堀内茂富士吉田市長、高村文教山中湖村長、天野康則忍野村長、佐藤幸三恩賜林組合長の出席のもと協定が締結されました。

今回の協定更新に臨むにあたり、市二村の将来を見据え総合的に地域の発展と民生安定の推移を図っていくことを基本的な理念として取り組みました。

特に、演習場の存在、富士山等の自然環境保全、周辺地域の発展という考え方を調和して共生させるための施策の推進は、昭和48年の暫定使用協定以来、富士北麓住民の悲願であり、過去においては、こうした地元住民の切なる思いを国策に反映させるため、仮称「富士保全法」の制定という形でこの考えが具体化されかけましたが、まだ実現には至っていませんでした。

今後、演習場の存在、富士山等の自然環境保全、周辺地域の発展という3極を調査して共生させるために関係地方公共団体が取り組む「まちづくり事業」などの推進に関して国として各省市の地域づくりの既存制度の活用支援など積極的な協力を求める環富士山地域を対象とする「新富士保全法(仮称)」の制定に取り組むことを強く要望した結果、防衛省として関係地方公共団体の地域づくりの取組に積極的に支援してまいります。また「新富士保全法(仮称)」については、これらの地域づくりの取組の成果を踏まえ、地元の要望を関係機関に伝えるなど、適切に対応していく。この回答を得ることができました。

その他の要望案件として、組合個別案件としては、

・民生安定事業の対象施設の拡大
・富士山北面の森林が有する公益的機能の発揮と入会に基づいた豊



使用協定調印式の様子



署名をする佐藤幸三組合長



署名をする小野寺五典防衛大臣

かな環境等を保全していくための事業等の採択範囲の拡大、及び現在組合に適用されている民生安定事業の対象施設そのものを狭義の「林業用施設」のみに限定せず、その時代に適合した入会の仕組みを通じて住民の生活の維持と向上を図ろうとして設置された組合の趣旨を勘案したのも対象となるよう求めるものです。

・北富士演習場賃借料の適正化
組合が撫育してきた森林が、土砂流出防止、砲音軽減、景観保護など演習場の施設機能の保持に貢献していること、また、この賃貸地、使用許可地は、世界に冠たる富士山の一部に位置しその位置や景観による潜在的な価値が元来備わっているものであること。そして、演習場賃料が近隣地域の地代算定の参考とされ地域経済への波及効果は少なくないことなど総合的な強化を加味した賃料、使用料とすることを求めるものです。

・恩賜国有財産部分林内の不発弾処理及び安全確認
現在、国において、組合造林事業予定箇所の不発弾探査及び不発弾等の処理を実施しているところであるが、今後も組合造林事業計画に添った不発弾探査を実施し、当該地域の確実な安全が保障されるよう求めるものです。

また、周辺整備5か年計画として、

- ・恩賜林百年の森計画推進事業、造林事業、
- ・恩賜林百年の森計画推進事業、木質バイオマスエネルギー事業、

について国側に要望しました。

地元要望及び組合個別案件等に対しては、国側からそれぞれ誠意のある回答を得て、締結したものです。

・国は、入会住民が入会地に隣接する梨ヶ原廠舎の現にフェンスで囲まれた区域外において火入れを行うことについて、同廠舎の運用に支障のない限り、これを認める。

など歴史的なものとなりました。

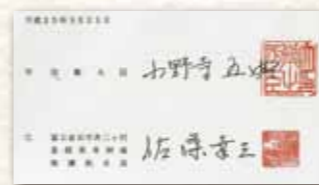
この変更箇所は、5年前の第5次入会協定締結後、国と地元側が双方の立場を尊重しながら、真摯な話し合いを重ねた結果です。

特に、「国は、入会地に保健休養・元気回復の効果があることを理解する。」の条文追加は、第1次入会協定締結から四半世紀を経過している今日において、近年の入会行為の変化や自然志向の高揚など、更には、幅広い入会地利用が活性化されてきている時代背景を考慮して、現実的に即した入会の態様(保健休養・元気回復)を国が認めた画期的なものです。

また、今回意見の一致が見られなかった点については、今後引き続き国と地元側とで協議を継続していくこととなっています。



入会協定調印式の様子



入会協定サイン



第一回開会 定例会

平成25年第一回定例会は、3月5日から3月25日までの20日間の会期で終了しました。この定例会において、上程された議案はすべて原案のとおり可決同意されました。

第二回開会 定例会

平成25年第二回定例会は、6月18日から7月5日までの18日間の会期で終了しました。この定例会において、上程された議案はすべて原案どおり可決・同意されました。



◎議案第一号

平成二十五年度組合一般会計当初予算(可決)
歳入歳出予算の総額を二十三億六百四十四万九千円とするものです。

◎議案第二号

平成二十五年度組合林産物流通事業特別会計当初予算(可決)
歳入歳出予算の総額を五千八百三十八万六千円とするものです。

◎議案第三号

平成二十四年度組合一般会計補正予算(第三号)(可決)
既定の予算から歳入歳出それぞれ二百九十九万四千円を減額し、予算の総額をそれぞれ二十五億八千七百三十万円とするものです。

◎議案第四号

平成二十四年度組合一般会計補正予算(第四号)(可決)
既定の予算に歳入歳出それぞれ五百四十二万六千円を追加し、総額をそれぞれ二十五億九千二百七十七万六千円とするものです。

◎議案第五号

組合有地賃貸借契約の締結について(可決)
富士吉田市上吉田の組合有地に関して、第九次北富士演習場使用協定に基づき、国に対して演習場として引き続き使用させるための賃貸借契約を締結するものです。

◎議案第六号

北富士演習場内山梨県有入会地を使用許可及び賃貸借契約することに関しての同意について(同意)
組合が保護の責任を有する山梨県恩賜県有財産である入会地の一部を北富士演習場として、山梨県が国に対し使用許可及び賃貸借契約をすることについて同意するものです。

◎議案第七号

平成二十五年度組合一般会計補正予算(第一号)(可決)
既定の予算に歳入歳出それぞれ五十五万六千円を追加し、総額をそれぞれ二十三億七千万円とするものです。

◎議案第八号

組合監査委員の補欠選任について(同意)
組合監査委員に、組合会選出の渡辺利彦氏の退任に伴い、後任に羽田功氏を補欠選任することについて、組合会の同意を求めるものです。

就任のあいさつ



議長
渡辺 忠義



副議長
天野 洋尚

入会住民の皆様には、平素より組合運営に対し深いご理解と協力を賜り、厚く御礼申し上げます。先の六月定例会におきまして、議員各位のご推挙により私たち兩名が議長及び副議長の重責を担わせていただくことになり身に余る光栄であり、衷心から感謝いたしておると同時に組合の歴史等を顧みますとき責務の重大さを改めて感じる次第であります。

議会はいうまでもなく組合の重要な事項を決定する機関であります。このような中で、市二村関係入会住民の代表である議員各位の意思を尊重し、また、自らが旧11ヶ村入会住民の代表者であることを鑑み、公平無私の立場を堅持しながら入会住民の皆様からの信託に応えるため円滑のうちに運営できますよう、誠心誠意努力してまいりたい所存であります。

今後におかれましても、関係市村入会住民の皆様方に組合会に対するなお一層のご理解とご協力をいただく中、入会権擁護と地域福祉の向上を期し、市二村の歩調を揃えた発展のため努力を惜しまない覚悟しておりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

新しい議員を紹介いたします

第二回定例会において、新しく組合会議員に就任しましたので紹介します。



大森 保廣
忍野村



羽田 功
山中湖村



羽田 功
山中湖村

新しい監査委員を紹介いたします



羽田 功
山中湖村

北富士演習場内国有入会地の火入れ

4/14
(日)

去る4月14日、北富士演習場内国有入会地において、入会権擁護の明認行為の一環である火入れが実施されました。

今年度は恵天候によりやむなく一度延期をしましたが、当日は快晴に恵まれ、美しい富士の元、火入れを実施することができました。

参加していただいた約3,500人の地元入会住民の方々及び、ご協力いただいた関係各位の皆様には改めてお礼申し上げます。



吉田会場



忍草会場



山中会場

入会権功労表彰

入会権功労表彰は、富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合入会権功労表彰に関する規則に基づき、富士山北面の旧11ヶ村総有の入会権の擁護と伸長に長くかかわり功労のある方に対し、その功績をたたえ、富士山北面入会権の更なる発展成熟となるよう表彰を行うものです。

6月に開催されたおんしりん森づくりフェスタでは、第1次入会協定の起草からご活躍されている次の2人の方々を表彰されました。

入会権特別功労表彰 (30年功労)



山中湖村旧三村
入会組合連合会長
高村 不二義

昭和36年山中長池入会組合理事となられたのを始め、昭和55年から現在まで山中湖村旧三村入会組合連合会長として活躍。

入会権功労表彰 (20年功労)



新屋入会組合長
堀内 和佑

昭和59年から現在まで新屋入会組合会長として活躍。

財政事情の公表

組合では、予算の執行状況などを地域の皆さんにお知らせするため、年に2回財政事情を公表しています。今回は、平成24年度一般会計及び特別会計の下半期における予算執行状況(決算見込)並びに基金の状況について公表します。

◎一般会計

(単位：円)

科目(款)	歳入	
	予算現額	収入済額
使用料及び手数料	4,886,000	5,034,310
国庫支出金	11,108,000	11,308,000
県支出金	9,740,000	9,794,526
財産収入	523,106,000	524,431,923
繰入金	406,879,000	380,000,000
繰越金	363,000	363,040
森林整備交付金	1,000	0
諸収入	1,636,633,000	1,645,093,180
歳入合計	2,592,716,000	2,576,024,979

(単位：円)

科目(款)	歳出	
	予算現額	収入済額
議会費	58,101,000	57,547,327
総務費	500,095,000	488,528,925
事業費	2,024,519,000	2,015,106,503
公債費	1,000	0
予備費	10,000,000	0
歳出合計	2,592,716,000	2,561,182,755

◎林産物流通事業特別会計

(単位：円)

科目(項)	歳入	
	予算現額	収入済額
営業収入	48,699,000	48,726,541
営業外収入	2,459,000	2,004,832
歳入合計	51,158,000	50,731,373

(単位：円)

科目(項)	歳出	
	予算現額	収入済額
営業費	50,957,000	50,731,373
営業外費	1,000	0
予備費	200,000	0
歳出合計	51,158,000	50,731,373

◎関係市村賦課金の概要

賦課金なし	
◎市村配分金の概要 (単位：円)	
配分先	金額
富士吉田市	1,028,880,000
山中湖村	101,040,000
忍野村(内野を除く)	70,080,000
合計	1,200,000,000

◎財産及び積立金の状況

(平成25年3月31日現在)

基金名	金額
財政調整基金	1,828,063,131
林業振興事業整備基金	6,799,505,385
合計	8,627,568,516

恩賜林杯スポーツ大会

今年も恩賜林杯スポーツ大会が開催されました。6月、7月には少年野球大会、ゲートボール大会、少年サッカー大会が開催され、どの大会も白熱した試合が繰り広げられました。今回はこの試合結果と大会の様子を報告します。



6年生大会
優勝 FANTASISTA.FC

7/6(土)

第18回おんしりん杯少年サッカー大会

場所◎山中湖交流プラザざくらら



4年生大会
優勝 ヴォルケーノ富士吉田ふじかめ



Aパート優勝 小明見下チーム

6/28(金)

第13回恩賜林杯ゲートボール大会

場所◎鐘山総合グラウンド



Aパート準優勝 富士山チーム



Bパート優勝 忍チーム



Bパート準優勝 向原チーム



優勝
上吉田少年野球チーム

6/22(土)・23(日)

第17回恩賜林杯少年野球大会

場所◎鐘山総合グラウンド



準優勝 忍野少年野球チーム

6/1(土)

おんしりん森づくりフェスタ開催!



毎年好評をいただいていた「おんしりんまつり」は、名称を「おんしりん森づくりフェスタ」と改め実施しました。
今回のおんしりん森づくりフェスタは、会場をおんしりん庭園から富士五湖文化センター・富士吉田市民会館に移しての実施でした。
会場では、入会権功労者の表彰や地元商工会議所等による模擬店、はなかつぱシヨ、木工体験、重機の展示などさまざまな催しが行われました。また、国際コンモンス学会に関連して、絵画・絵手紙の表彰式や展示、研究者へのメッセージを送る寄せ書きコンモンスなどの催しも実施しました。



「わたしのすきな富士山」 絵画・絵手紙展

「わたしのすきな富士山」
絵画・絵手紙展では、全応募作品約2,200点の展示と入賞者への表彰が行われました。

表彰者

- 絵画部門
高学年の部
「最優秀賞」
渡辺 瑛文
- 「優秀賞」
宮下奈都香
- 「コンモンス賞」
高橋香代子
- 高村 泰成
- 絵画部門
低学年の部
「最優秀賞」
古屋 朋秀
- 「優秀賞」
橋田 慶人
- 渡辺 真帆
- 「コンモンス賞」
渡辺 琴音
- 絵手紙部門
「最優秀賞」
田辺 祐子
- 「優秀賞」
長田 五月
- 田中美恵子

最優秀作品



富士山は子供のころからおともだち
田辺 祐子さん



未来の富士山
古屋 朋秀くん



太陽にてらされてすがすがしい富士山
渡辺 瑛文くん



おんしりん溶岩観察会

開催日◎8月4日(日)
場所◎富士吉田市上吉田雁の穴地区
(受付:恩賜林憩いの家)
時間◎午前10時から午前11時30分まで
対象◎富士吉田市、忍野村、山中湖村在住の親子(子供のみの参加も可)
定員◎先着10組(要予約)
内容◎雁の穴を散策し、溶岩、火山について学ぶ観察会。
参加料◎無料
申込み・問い合わせ◎森林文化課

第5回恩賜林杯囲碁大会

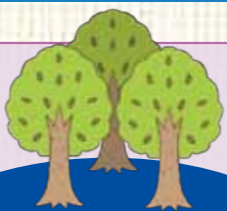
開催日◎8月7日(水)
場所◎恩賜林組合1階和室
対象◎富士吉田市、山中湖村、忍野村在住の方
内容◎囲碁大会を開催します。日頃の鍛錬の成果を発揮してみませんか?ぜひご参加ください。
参加費◎無料
申込締切◎8月5日(月)
問い合わせ◎企画財政課

木のねんど教室

開催日◎8月11日(日)
場所◎恩賜林憩いの家
時間◎1回目 午前10時30分から
2回目 午後1時から
対象◎子供から大人まで
内容◎おがくずを材料とした、自然にやさしいねんどを使った工作教室。
参加費◎500円(材料費として)
問い合わせ◎憩いの家

おんしりんツリークライミング®体験会

開催日◎8月24日(土)・25日(日)
場所◎富士吉田市上吉田土丸尾地区
(受付:組合庁舎前)
時間◎午後1時から午後3時まで
対象◎富士吉田市、忍野村、山中湖村在住の小学生から大人まで(小・中学生は保護者同伴)
定員◎先着10名(要予約)
内容◎専用の道具を使った、専門家の指導による木登り体験会です。
参加料◎無料
申込み・問い合わせ◎森林文化課



組合からお知らせ (イベント情報)

シイタケ収穫体験

開催日◎8月25日(日)
9月21日(土)・22日(日)・23日(月)
10月19日(土)・20日(日)
場所◎恩賜林組合内(林間滑場等)
時間◎午前9時から午後3時まで
対象◎子どもから大人まで
内容◎組合で栽培したシイタケを原木から収穫します。
※椎茸の発生状況・天候等により収穫体験が出来ない場合があります。
参加料◎収穫したシイタケは、100gあたり100円で販売します
問い合わせ◎森林整備課

6/27(木) 園児達がひまわりの種を植えました

忍野村立忍野幼稚園の園児たちが組合の畑に出向き、ひまわりの種植え体験を行いました。
みんな列にならび、一生懸命にひまわりの種を植えてくれました。
8月の下旬頃には大きくなったひまわりがたくさんみられることでしょう。

昨年のひまわり

4/27(土)~5/6(月) 森林ふれあい教室

4月27日から5月6日までの7日間、組合庭園内で「おんしりん森林ふれあい教室」を開催しました。
しいたけの収穫体験、木工フラフト教室、木のおもちゃ体験、自然観察会など子ども向けの森林体験教室やペレットストーブの展示また、国際コンモンス学会北富士大会と連携したはぎれアートや木の名札づくりなどを行いました。

組合職員採用試験の案内

平成26年4月1日に採用する職員の採用試験を行います。詳しくは、組合などで交付している「平成25年度山梨県町村職員統一採用試験案内」をご覧ください。



●職務

組合の一般業務(身分・一般職の地方公務員)

●資格・採用予定数

◎事務職Ⅰ《1名》

- 最終学歴：大学卒業又は卒業見込み並びにこれらと同程度の学力を有する者
- 昭和59年4月2日～平成4年4月1日生
- 富士吉田市、忍野村(内野を除く)、山中湖村に在住する入会住民である者、又は採用後在住し入会住民となる者

●試験

第1次試験(山梨県町村職員統一採用試験)

日時：平成25年9月22日(日)
場所：山梨大学甲府キャンパス内(甲府西キャンパス)
甲府市武田4-4-37

試験内容：教養試験、事務適正検査、一般性格診断検査

第2次試験(第1次試験合格者のみ実施)

日時：10月下旬～11月上旬ごろ
場所：富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合庁舎
富士吉田市上吉田5605

試験内容：論述試験、口述試験、業務適性検査



- 申請方法 申請書の請求及び試験申込みについては、総務課職員担当まで
- 申込み受付期間 7月23日(火)から8月12日(月)まで
- 申込み・問い合わせ 総務課職員担当

おんしりん自然体験指導員募集

おんしりん組合では、組合事業を理解した上で、自然体験会や観察会をとおして、自然環境保護の大切さや入会についての啓蒙・啓発を行える自然体験指導員を募集します。



●募集人員 4名

- 応募資格 富士吉田市、忍野村(内野を除く)、山中湖村在住の25歳から70歳までの心身共に健康で、組合事業(自然環境教育)に理解を示し、積極的な姿勢と協調性を持って業務に取り組める者(自然環境教育関連の実務経験がある方が望ましい)
- 勤務期間 平成25年10月1日から平成26年3月31日まで(組合で指定する月2～4日のシフト勤務)
- 勤務時間 午前8時30分から午後5時15分まで

●賃金 日額 8,000円

- 応募期間 平成25年8月1日から平成25年8月31日まで
- 応募方法 組合で定める応募用紙を提出
- 選考方法 面接(9月中旬に組合が指定する日)
- 結果の通知 平成25年9月20日までに郵送にて通知。
※選考結果に関しての問い合わせには一切応じられません。
- 問い合わせ 森林文化課

謝 来園



おばあちゃんの誕生日に
一緒に来ました。
遊具で遊べて
楽しかったです。

富士吉田市下吉田
カリン
高橋香梨ちゃん
アイリ
高橋愛梨ちゃん

無料法律相談

組合では、一市二村入会住民の方を対象に、顧問弁護士による無料法律相談日を設けています。

法律問題でお困りの方は、この機会にご相談ください。



次回相談日：平成25年9月10日(火曜日)

受付時間：午後1時から2時まで

※指定日以外または電話による相談はできません。

問い合わせ：演習地対策課



この印刷物は環境にやさしいVOC(揮発性有機化合物)成分フリーの植物油性インキを使用して印刷しました。

この印刷物は色覚障害の方に配慮し制作しています。